

平成 28 年度
事業報告書

社会福祉法人 民生博愛会

第四東光保育園

1. 基本方針

保護者が子どもを安心して預けて働くことのできるように、またバランスのとれた発育・発達を促し精神的・情緒の安定した楽しい保育園生活が送れるよう日々の保育や行事、園内・外研修にとりくむ

保護者が精神面での不安定さや、子育ての不安を抱える家庭、園に対する要望など、子どもたちの事を考慮しながら職員会議の中で話し合い保護者への援助や理解を深めていく。また、延長保育事業・一時預かり事業を利用しやすいような保育環境を整える。

クラス編成 3月31日在籍数

5 歳 児 (ぞう組)	榎波一寿	10名
4 歳 児 (こあら組)	久保田泰子・宮下礼佳	19名
3 歳 児 (うさぎ組)	村上千佳子・野村優子	9名
2 歳 児 (ぱんだ組)	藤谷沙樹・櫻井真紀子・西村亜美	12名
0・1 歳児 (りす組)	佐々木奈津美・齋藤恵・太田康子	12名
主任保育士	越田麻有未	

合計 62名

今年度は新卒の職員が入ったが、主任保育士・保育士の異動でなかなか職場の人間関係が築けなかったり、個人情報に関するトラブルも多く、メンタル面で体調を崩す職員が続いた。勤務態勢や職員の配置換え、パート保育士の雇用等で何とかクリアするも、メンタルヘルスについての知識が十分に必要であると感じた1年であった。今後も職員間での報告・連絡・相談を怠らないようにし、質を落とさず効率よく仕事ができるよう考えていき、また、引き続き保護者から信頼され、楽しい保育園作りを目指していきたい。

一年間の在籍数

月	保育日数	初日 在 籍 数 (クラス別)				
		0・1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
4	25	9	12	8	14	10
5	23	10	12	8	14	10
6	26	10	12	8	14	10
7	25	10	12	8	14	10
8	26	12	12	9	15	10
9	24	12	12	9	15	10
10	25	13	13	9	15	10
11	24	14	13	9	16	10
12	24	14	12	9	18	10
1	23	14	12	9	18	10
2	23	13	12	9	18	10
3	26	12	12	9	19	10
年間	294	143	146	104	190	120

2. 保育活動

平成21年度より保育課程を作成する

(1) 保育の理念について

- ・ これから地域を担う子ども一人一人を大切に、保護者から信頼され、地域に密着した保育園を目指す

(2) 保育方針について

- ・ 心身共に健康で、思いやりの心溢れる子どもを育成する

(3) 保育目標について

- ・ 心身共に健康で素直な子
- ・ 良い事、悪い事を判断できる子
- ・ 感謝の気持ちを忘れない子
- ・ 最後まで頑張る事の出来る子
- ・ 協力し合う心を持った子
- ・ 自分の思っていることが話せ相手の話が聞ける子

上記の目標を達成するため、職員への周知を徹底しこの目標をきちんと把握し、子どもの指導の立場上自らの目標としてすすめて、努力する。

(4) 保育の内容について

保育目標に掲げた子どもを育成するために年齢やクラスの枠にとらわれずに保育指針によって保育を進める、また、園生活が長時間におよぶことを考慮し、保護者との連携を密にして保護者と園と子どもの三位一体で保育を進める。

- ・ 子どもの大好きな戸外遊びを十分取り入れる。四季の自然を肌で感じ取り四季に応じた保育活動内容を十分行う。紫外線対策に気を遣いながら、日光浴・外気浴をとおして体力づくりをする
- ・ 日本古来の伝統行事をできる限り行う。
- ・ 年齢やクラスの枠にとられない園児の交流を行い、大きい子は小さい子の面倒を見ることにより思いやり・優しさの心を育てる。
- ・ 基本的な生活習慣の確立を目指し、自立を促す。
- ・ 園児の健康は園医による健康診断と検尿、歯科医による歯科検診・ブラッシング指導で把握し、保健日より等で感染症の予防や流行した場合お知らせしている。
また、畑作りや月1回の食育・保健指導を行い、園児に食や健康に対する興味や関心を持たせ大切さを知らせる。
- ・ 避難訓練指導や交通安全指導日を月1回は設け、園児だけではなく、園全体として災害や有事の際の避難行動などを習得する。
- ・ 親子バス遠足、夏祭り、運動会、お遊戯会、卒園式などの保育園全体としての諸行事を保護者参加のもとで行い、保護者と交流を深め、子どもの成育の状態を知って貰うよう努める。また、個人面談・保育参観日を設け保育園と保護者との共通理解を深める。
- ・ その他必要と思われることは、柔軟に対応して保育に生かす。

(5) 保育計画について

年齢構成が0歳（産休明け2ヵ月）から就学前までの年齢と幅が広いので、年齢によっ

て発達の度合いが違うことを十分に考慮して、園児が無理なく成長できる個別保育計画など保育指針に沿って立案し実行する。

- ・ 養護・教育の観点から、子どもの生活や発達を見通した年間計画および月間計画、週日案、個人目標を作成し実行する。
- ・ 立案された保育計画により、給食、おやつ、午睡、あそびなどの一日のながれを各年齢に沿ったものとする。
- ・ 乳幼児が大半を過ごす生活の場所であることから、家庭との連絡を密にしながら、子どもが健康・安全で情緒の安定した生活ができるように計画を作成する。
- ・ 子どもは新しいことにとっても興味・関心を示すものであり、マンネリにならないよう行事保育などの企画を作成し実行する。
- ・ 従来の方の質を高めるよう工夫を重ね、また新しい企画を積極的に取り入れ、子どもの生活していくイメージをふくらませ意欲を持たせる。
- ・ 子どもが、本来もっている力のほかに秘められた力を引き出し、明るく伸び伸びとした生活が送れるよう計画し実行する。
- ・ お友だちを意識し、集団行動の中で社会のルールや習慣を習得する環境をつくる。
- ・ お友だちを意識し、一緒に作り上げる喜びを知るような計画を作成する。

上記に掲げた事を念頭に平成28年度もいろいろな行事をすすめていく中で要領よく取り入れ実施した。

(6) 自己評価について

今年度も保育の質の向上と保育所機能の改善を目的として自己評価を行い、次年度へつなげていくようにする。

(7) 保育環境について

園児が安心して快適に、そして、安全に過ごすことができることを目標として次のとおりとする。

- ・ 保護者と離れて長時間過ごす園児が不安を感じずに安心できるようにクラスはもとより、園全体も家庭的な雰囲気づくりを心がける。
- ・ 保育室を含めた園内は採光・換気・保湿・清潔など保健の向上に努める。
- ・ 園児が使用する寝具、食器、遊具などについても日々点検を怠らず清潔を保つ。
- ・ 施設等点検表を作成し園内外の各所は元より備品の状態を常々把握し、危険な箇所や破損があった場合は迅速に点検および修理修繕をし、園児および職員が事故がなく安全で快適に生活できる環境づくりをする。
- ・ 遊び・食事など含めたすべての事に子どもが興味・関心・意欲を持てるような遊具・机などの配置およびコーナーの設置に考慮する。
- ・ 子どもは広い環境と狭い子どもしか入れない場所を好むため保育園全体のスペースの検討を怠らない。

全室床暖房・エアコン設置が整備され快適な環境整備持続に努めた。感染症の予防では、空気清浄機を使用した。園内の塩素消毒・取り扱い上のマニュアルを全職員勉強して広がり防ぐよう努力した。また、使い捨てペーパー・使い捨て紙コップ等を導入することにより感染症予防に力を入れた。

(8) 保育開始日および保育終了について

- ・ 保育開始日 平成28年4月 1日
- ・ 保育終了日 平成29年3月31日

(9) 開園時間・休園日について

就労形態の変化により、保護者より求められる必要性の高い保育ニーズとして開園時間の長時間化がある。このことを真摯に受け止め、長時間開園を実施する。

- ・ 開園時間
月曜日～土曜日 午前7時～午後7時
- * 短時間認定は午前7時～午前8時、午後16時～19時、標準時間認定は午後18時～19時を延長保育とし、利用者からは延長保育料を徴収している。取り扱作業も順調に経過し問題は見られない。
- ・ 休園日
日曜日および祝日、年末年始（12月30日～12月31日および1月2日～1月3日）
日曜日および祝日に保育行事を行った場合の振り替え休園日は実施せず職員が交代で振り替え休日を取る。
①平成28年 9月 4日（日曜日） 運動会

(10) 給食業務について

- ・ 月齢が低い乳児の入所が多くなり月齢に応じた離乳食づくりを進める。
- ・ アレルギーの子どもが年々増えている状態のなかで、入園時の聴き取り調査を徹底し、診断書の提出をお願いする。また、除去食専用の食器にし、誤食を防ぐ工夫をする。
- ・ 塩分などに十分気をつけた給食を提供し、子どもの健康管理に配慮してきた。また、玄関に実物を展示し家庭での食事の参考にさせていただく。
- ・ 食中毒予防のためには、調理員・保育士・園児の手洗いを徹底し細心の注意を払い保育にあたってきた。
- ・ 食事について知らせたり、畑作りを通して「食べ物への関心」を高めるよう努めた。収穫した野菜は給食の献立に反映させたり加工して食べることで、美味しさや作る喜び・感謝の気持ち・ものの大切さなどを知るなど効果が見られた。

(11) 保健衛生について

調理業務に携わる者には、月1回の検便を義務づけ食中毒の発生皆無を目標として進め、乳児の調乳に携わる保育士の検便も実施する事にして衛生面に配慮した。

(12) 怪我について

- ・ ヒヤリハット・事故記録の作成や再発防止策や再発防止策に対する検討など、職員会議で十分話し合い減らしていく努力をする。
- ・ 侵入者による事件などの防止に園児の送迎時間以外は施錠を徹底し、保護者の理解も得られている。

(13) 保護者との連携について

- ・ 父母の会組織の協力を得られ、1年間保育活動を進めることができた。また、年度末には、保育園利用者アンケートを実施し要望に応えるようにする。

- ・ 伝染性の感染症発生時、迅速に家庭に保健だより・掲示板を通じて知らせることによりさまざまな感染症の広がりを防止できたと思う。

(14) 関係諸機関との連携について

小学校との引き継ぎは「はばたきカード」や担当教諭との面談で連帯を図る。

(15) 保育ニーズへの対応について

- ・ 開園時間の延長

延長を利用する家庭が減っているが安心して利用している家庭が多い。

年間利用人数 360人

〈利用実績状況〉

月	開設日数	延長保育日数	利用人数 (短時間)
4月	25	17	24
5月	23	16	33
6月	26	21	37+(3)
7月	25	18	32
8月	26	18	27+(2)
9月	24	19	36
10月	25	15	27
11月	24	15	26
12月	24	19	41
1月	23	17	28
2月	23	10	15
3月	26	17	28
合計	294	202	354+(6)

- ・ 一時預かり保育園児受け入れ

年間利用人数 140人

前年度より増え、低年齢児の利用が多かった。

〈利用実績状況〉

月	開設日数	一時保育日数	利用人数
4月	25	10	10
5月	23	9	9
6月	26	10	14
7月	25	10	11
8月	26	6	6
9月	24	12	12
10月	25	12	14
11月	24	13	15
12月	24	12	16
1月	23	10	10
2月	23	10	11
3月	26	9	12
合計	294	123	140

(16) 各マニュアルづくり

虐待対応マニュアル・乳児突然死症候群（SIDS）の予防・アレルギーの予防と対応
食中毒・災害時の対応・事故や事件の予防と発生時の対応についてのマニュアルを作成す
る。

(17) お年寄りとの交流について

日常お年寄りと接したことがない子どもが多く、清華園訪問やはまなすの里訪問・祖父
母との交流を通して思いやりや優しい気持ちを育てていく。おゆうぎ・歌などの披露は勿
論、触れ合い遊びを重点に交流を行うことで、お年寄りの喜ぶ顔がたくさん見られた。

3. 異年齢児交流事業「チビッコ広場」

異年齢児保育事業の一環として進めている「チビッコ広場」支援センターの役割を兼ね
備えながら実施している、しかし年々利用者が減っている。

4. 職員資質の向上

研修会には積極的に参加させ、研修終了後の報告を職員会議や園内研修などを行い、保育
従事者の自覚を促す事で保育の資質向上や自己の保育の参考となった。

- ※ 運動会実技研修会（北斗市）
- ※ 新任保育士等研修（札幌市）
- ※ 北海道保育研究大会（札幌市）
- ※ 保育専門講座一乳児・食育編一（札幌市）
- ※ 主任保育士等研修（札幌市）
- ※ 渡島保育協議会新任保育士研修（北斗市）
- ※ 児童虐待対応専門研修会（函館市）
- ※ 渡島障がい児等支援体制整備事業（函館市）
- ※ 中堅・主任保育士等養成セミナー（札幌市）
- ※ 平成28年度感染症予防対策研修会（函館市）
- ※ 函館児童相談所児童虐待防止講演会（函館市）
- ※ 渡島保育協議会保育士研修会研修会（北斗市）
- ※ 北斗市保育連合会研修会（北斗市）
- ※ 民生博愛会…ノロウイルス研修会
救急講習会（北斗市）
- ※ 園内研修…保育のこころえについて
親子体操・運動会実技研修
保育について
ゲームなど子どもに与える影響
アトピー性皮膚炎について、感染症について
自然物を使った遊び
防災・避難訓練について
誤飲について、アレルギーについて
手遊び・わらべうたについて
実習生の受け入れについて
クレーム対応について
新入園児の受け入れ対応

平成28年度 年間行事報告

番号	月 日	内 容
1	4月 1日	対面式 (りす9 ぱんだ12 うさぎ8 こあら14 ぞう10 合計53名)
2	12日	幼年消防クラブ入会式 (年長児、北斗消防署)
3	14日	身体測定
4	15日	交通安全教室 (北斗市)、園児健康検診 (海老沢医院)
5	19日	避難訓練
6	21日	こどもまつり (食育・保健指導)
7	23日	保育参観・懇談会・父母総会
8	26日	お誕生会
9	5月 11日	清華園お誕生会 (世代間交流)
10	13日	避難訓練、第一回父母会役員会
11	16日	身体測定、個人面談開始
12	18日	食育・保健指導
13	24日	クロネコヤマト安全教室
14	25日	お誕生会
15	26日	交通安全指導
16	28日	親子バス遠足 (香雪園)
17	6月 3日	歯科検診・ブラッシング指導 交通安全指導
18	10日	食育・保健指導
19	14日	第二回父母会役員会
20	15日	身体測定、避難訓練 (消防署指導)
21	20日	交通安全指導
22	23日	お誕生会
23	29日	清華園訪問 (世代間交流)
24	7月 1日	プール開き
25	4日	七夕飾り製作 (世代間交流)
26	5日	避難訓練
27	7日	七夕会
28	8日	七夕会 笹焼き
29	9日	小学校訪問 (年長児)
30	11日	食育・保健指導
31	15日	身体測定、お泊まり会
32	16日	お泊まり会
33	17日	お泊まり会
34	20日	交通安全指導
35	21日	支援センター「夏祭り」
36	23日	夏祭り (父母会共催)
37	28日	お誕生会
38	8月 2日	大野農業高校訪問 (年長児)、チビッコ広場 (異年齢児交流)
39	6日	小学生交流会 (異年齢児交流)
40	8日	食育・保健指導
41	9日	避難訓練
42	15日	身体測定
43	16日	運動会練習開始
44	17日	お誕生会、清華園デイサービス訪問 (年長児)
45	22日	交通安全指導
46	25日	上磯中1年生職場体験

番号	月	日	内 容
47		26日	お誕生会
48		30日	運動会総練習
49	9月	4日	運動会
50		12日	避難訓練
51		13日	はまなすの里デイサービス訪問(年長児) 第三回父母会役員会
52		15日	身体測定、食育・保健指導
53		16日	徒歩遠足
54		20日	交通安全指導
55		23日	お誕生会
56		26日	芋掘り(年長・中児)
57		27日	りんご狩り(年長・中児、祖父母)
58	10月	4日	年長児修園旅行(函館市)
59		6日	支援センター「にこにこ運動会」
60		12日	避難訓練
61		13日	やきいも会
62		14日	交通安全指導、身体測定、園児健康診断(海老沢医院)
63		15日	上磯小学校1年生来園
64		18日	食育・保健指導 お誕生会
65		26日	上磯小学校訪問(年長児) お遊戯会総練習
66		28日	お誕生会
67	11月	2日	お遊戯会総練習
68		5日	おゆうぎ会
69		10日	避難訓練
70		14日	個人面談開始
71		15日	身体測定チビッコ広場(異年齢児交流)
72		18日	食育・保健指導
73		21日	交通安全指導
74		22日	はまなすの里デイサービス訪問、チビッコ広場(異年齢児交流)
75		25日	お誕生会上磯中学校ふれあい交流学习
76	12月	2日	食育・保健指導
77		5日	上磯中学校ふれあい交流学习
78		6日	上磯中学校ふれあい交流学习
79		7日	交通安全指導、年賀状製作(世代間交流)
80		8日	おもちつき会
81		13日	避難訓練
82		15日	年賀状郵送(世代間交流)、身体測定
83		16日	お誕生会
84		20日	年長児豆腐作り(六輪村)
85		22日	クリスマス会
86		26日	繭玉飾り(年長・中)
87	1月	5日	平成29年度継続入所書類配布
88		6日	お正月遊び
89		10日	食育・保健指導
90		11日	清華園訪問(年長児)
91		12日	避難訓練
92		14日	小学生交流会(異年齢児交流)

番号	月 日	内 容
93	16日	交通安全指導、身体測定
94	18日	ひのき屋公演、チビッコ広場(異年齢交流)
95	19日	親子そり遠足(年長児)
96	23日	保育所運営指導(渡島振興局)
97	25日	お誕生会
98	28日	新年交流会(世代間交流)
99	31日	光る影絵鑑賞(年長児)
100	2月 2日	卒園児プレゼント製作
101	3日	豆まき会
102	6日	交通安全指導
103	8日	避難訓練
104	9日	チビッコ広場(異年齢児交流)
105	13日	食育・保健指導
106	15日	身体測定
107	18日	保育参観・懇談会…りす・うさぎ・ぞう組
108	23日	お誕生会
109	25日	保育参観・懇談会…こあら・ぱんだ組
110	27日	卒園式練習開始
111	3月 1日	食育・保健指導
112	3日	ひなまつり会
113	6日	交通安全指導
114	8日	卒園式総練習
115	11日	第37回卒園式
116	13日	避難訓練
117	15日	身体測定、幼年消防クラブ退会式(年長児・北斗消防署)
118	16日	新入園児説明会
119	17日	お別れ会
120	24日	お誕生会
121	31日	保育終了日 (りす12 ぱんだ12 うさぎ9 こあら19 ぞう10 合計62名)

5. 施設・設備改善報告書

(1) 駐車場確保

近隣の住宅に依頼して駐車させてもらう。しかし、行事等は園庭に駐車する。

(2) その他施設環境整備のため事業をおこなったもの

① 物置外部改修工事について

屋根からの積雪による破損のため

工 事 日 平成28年4月28日～5月14日

工 事 業 者 株式会社小野建業
工 事 金 額 165,045円 (税込み)

② 西側木柵やり替え工事について

台風被害のため

作 業 日 平成28年10月10日～11月20日
工 事 業 者 田島緑地前川コルポレーション株式会社
工 事 金 額 928,800円 (税込み)

③ 東側木柵やり替え工事について

台風被害のため

作 業 日 平成28年10月10日～11月20日
工 事 業 者 田島緑地前川コルポレーション株式会社
工 事 金 額 972,000円 (税込み)

④ ロードヒーテング盤改修工事について

故障のため

作 業 日 平成28年10月24日～11月19日
工 事 業 者 有限会社千秋電気
工 事 金 額 486,000円 (税込み)

⑤ 休憩室改修工事について

職員の福利厚生のため

作 業 日 平成29年3月22日～31日
工 事 業 者 田島緑地前川コルポレーション株式会社
工 事 金 額 712,800円 (税込み)

(3) 保育用具・遊具の購入

① メイトシステムプールスクエア2型

園児のプール遊びに活用

工 事 日 平成29年2月25日～3月4日
工 事 業 者 有限会社ごとう幼保教材社
工 事 金 額 1,753,920円 (税込み)

6. 備品および機器の購入

① お遊戯室のストーブの購入

故障のため

工 事 日 平成28年10月20日～31日
工 事 業 者 アズマ電気
工 事 金 額 317,952円 (税込み)

以 上